

一次電池通則の JIS を改正

- 乳幼児による誤飲事故の防止対策に関する推奨事項を追加しました -

平成 29 年 9 月 20 日

一次電池の更なる安全性向上を図るため、関連する日本工業規格(JIS C8500)について、電池誤飲事故予防のための機器の電池室設計上の安全配慮に関する推奨事項を追加する等の改正を行いました。

1. 改正の目的・背景

私たちの暮らしの中で、電池は重要な役割を担っており、生活の至るところで広く使われています。特に家電製品のリモコンや懐中電灯、玩具など一次電池（使い切りの電池）を使った製品は、各家庭の誰でも触れられる場所に置かれている場合があります。

他方で、そのような製品であるがために、乳幼児が電池を取り出して誤飲する事故が問題となっています。

経済産業省では、日本工業規格(JIS C8500(一次電池通則))において一次電池の電池系、寸法、命名法、端子形状、表示、試験方法、代表的な品質特性、安全性及び環境側面を規定していますが、この度、当該規格に乳幼児の電池誤飲事故予防に関する推奨事項を追加しました。

これは、今般改正された対応する国際規格(IEC 60086-1)の内容とも整合するものです。

この規格の改正によって、電池誤飲事故を予防する製品の開発や、電池の安全な使用につながる事が期待されます。



図1 - 一次電池（ボタン・コイン電池）の例

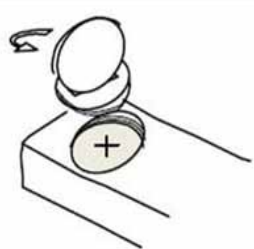
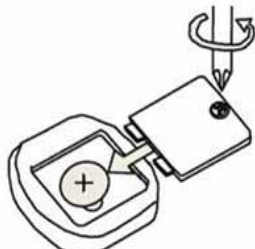
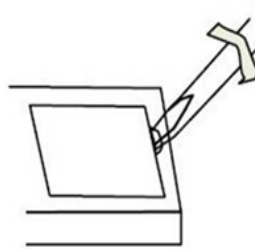
2. JIS 改正のポイント

電池使用機器の電池室設計において、電池誤飲事故予防の観点から、乳幼児が容易に電池を取り出せないようにする設計指針を、附属書Bに推奨事項として追加しました。主なポイントは以下の通りです。

電池室を開けるには、ドライバー又はコインのような道具を用いる構造とすること(1)又は、最低でも独立し連続的な二つの操作が必要なようにすること(2)。(IEC 規格と整合)
機器の落下等によって簡単に蓋が外れない構造とすること。(JIS 独自で追加)

以下、参考までに一次電池使用機器の電池室の事例は以下の通り。

1の例

	コイン使用	ねじ止め式	マイナスドライバー
工具必要			

電池を交換する

表示が薄くなったり、ブザーの音が小さくなったら新しい電池と交換してください。

- ①本体裏の電池カバーを矢印の方向へ開ける。
- ②古い電池を取り出す。
→図の部分に細い棒を入れて持ち上げると、電池を取り出すことができます。
※幼児の誤飲防止のため、指では取り出しにくくなっています。
- ③新しい電池 (CR2032) を「+」側を上にして、矢印の方向から先に入れる。
- ④電池カバーを矢印の方向へ閉める。
※付属の電池はお試用として工場出荷時に納められたものですので、寿命が短い場合があります。
※古い電池はお住まいの市町村区の廃棄方法に従って処理してください。



トレー ニングタイマー取扱説明書

■チャイルドロック

乳幼児が電池ケースを開けて電池を飲み込んでしまうことのないように、チャイルドロックが付いています。このロックを閉めることにより、電池ケースがむやみに開いてしまうのを防ぎます。ロックの開閉位置については、右図をご参照ください。ロックをする際には、付属の青い道具や先端の尖ったもの (ペンの先、ピンセットなど) を使用してください。



閉める ← → 開ける

ジーエヌリサウンドジャパン社製「リサウンド・パーソ」(補聴器) 取扱説明書

2の例


ペン先使用

工具必要



2つの独立した操作を必要とするものの例

工具不要



(出典) 東京都生活文化局「子供に対するコイン形電池等の安全対策」～東京都商品等安全対策協議会報告書～
(平成27年12月)より図を抜粋

【担当】

経済産業省 産業技術環境局 国際電気標準課 (03-3501-9287、内線：3428～3429)
(課長) 森田 健太郎 (担当) 堀坂、田邊